

工業の概況

～平成30年工業統計調査結果（確報）より～

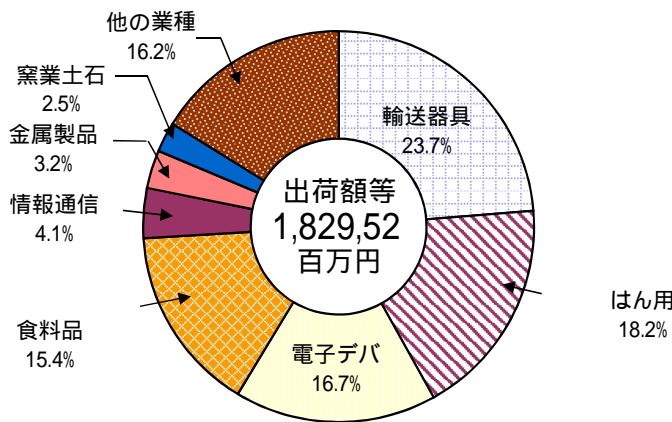
平成29年の本県の生産活動を見ると、製造品出荷額等（従業者4人以上の事業所）は、1兆8,295億2,000万円で、前回調査に比べて897億8,700万円（5.2%）の増加となった。

これを業種別に見ると、最も増加した業種は、はん用機械器具製造業438億1,300万円（増減率15.1%）、次に、生産用機械器具製造業186億4,900万円（同87.4%）、電子部品・デバイス・電子回路製造業152億1,100万円（同5.2%）など14業種であった。

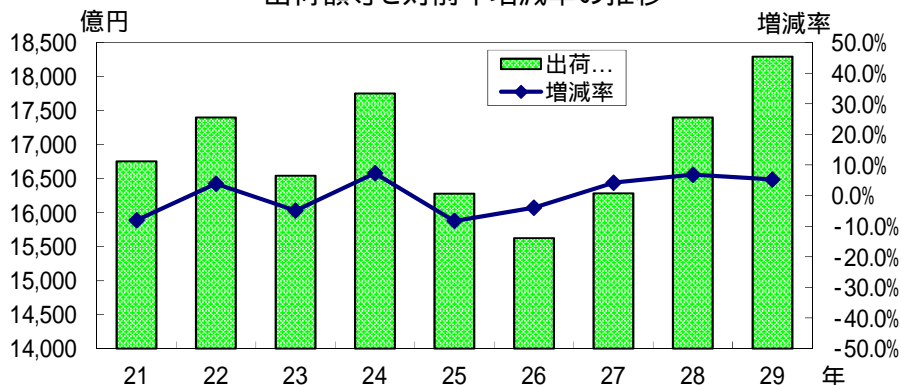
一方、減少した業種は、輸送用機械器具製造業139億900万円（同3.1%）、パルプ・紙・紙加工品製造業22億5,200万円（同33.4%）、業務用機械器具製造業9億7,900万円（同2.9%）など7業種であった。

この結果、業種別構成比は、輸送用機械器具製造業23.7%（4,342億600万円）で最も大きく、以下、はん用機械器具製造業18.2%（3,335億2,600万円）、電子部品・デバイス・電子回路製造業16.7%（3,057億6,500万円）、食料品製造業15.4%（2,825億8,200万円）という順になっており、これら4業種で全体の74.0%（1兆3,560億7,900万円）を占めている。

出荷額等の産業別割合



出荷額等と対前年増減率の推移



注1:「23」、「27」の数値は経済センサス 活動調査の数値、その他の年は工業統計の数値である。
 注2:「27」の製造品出荷額等については、個人経営調査票による調査分を含まない。

(県統計課)